

全文検索システム『ひまわり』/USBへの『ひまわり』とMeCabのインストール

[Top](#) / [全文検索システム『ひまわり』](#) / USBへの『ひまわり』とMeCabのインストール

言語を選択 | ▼

[全文検索システム『ひまわり』](#)

本ページの内容は、ver.1.5用です。1.6では（そのままでは）使用できません。

1. はじめに [↑](#)

このページでは、Windows PC を対象に、『ひまわり』と [MeCab](#) (形態素解析システム) を USB メモリにインストールする方法を紹介します。USB メモリへのインストールなので、大学のPC教室のように、ソフトウェアを自分でインストールできない環境でも、『ひまわり』から MeCab が利用できるようになります。特に、『ひまわり』の[テキストインポート機能](#)と連携させれば、自分の用意したテキストに対して、形態素結果をアノテーションし、検索に活かすことができます。

なお、2章で行う内容をパッケージ化したものを3章で配布しています。2章をざっと読んだ上で、パッケージを試してみることをおすすめします。

2. USB メモリへのインストール方法 [↑](#)

2.1 『ひまわり』 [↑](#)

Windows 環境では、『ひまわり』のフォルダを USB メモリにコピーするだけで、そのまま『ひまわり』を利用できます。『ひまわり』のダウンロードは、[配布ページ](#)から行なって下さい。

2.2 MeCab [↑](#)

現時点 (2016-03-14) の [Windows 版 MeCab](#) は、インストーラの形式で配布されています。USB メモリ上にインストールすることもできますが、インストールの際に管理者権限が必要になりますので、次の手順で USB メモリにコピーして下さい。

1. MeCab を管理者権限を持っている Windows PC にインストールする。
2. MeCab のインストール先のフォルダ (通常は、C:\Program Files\MeCab) をUSB メモリ上の『ひまわり』のフォルダにコピーする。

教育現場で利用する場合は、教師が上記2の MeCab フォルダを学生に再配布し、学生が各自 USB メモリにコピーするのがよいでしょう。

2.3 設定 [↑](#)

『ひまわり』から MeCab を起動するための設定は、config_xxx.db.xml に記述されています。末尾が .db.xml の設定ファイルは、形態素解析結果を検索に利用する際に利用するもので、例えば、『ひまわり』に同梱されている、青空文庫サンプルの場合は、config_aozora_sample.db.xml です。

修正しなければならないのは、次の箇所です。「秀丸」などのテキストエディタなどで参照して下さい。

```
<li name="MeCab" os="Windows" annotation="morph"
    command="C:\Program Files\MeCab\bin\mecab"
    option="--node-format=%m\t%f[0]\t%f[1]\t%f[2]\t%f[3]\t%f[4]\t...
```

この設定のうち、command= の部分が MeCab のインストール場所を指定しています。上記の設定では、MeCab のデフォルトのインストール先 (C:\Program Files\MeCab\bin\mecab) になっています。

USB メモリ上の『ひまわり』フォルダに MeCab フォルダをコピーした場合は、次のように修正します。変更点は、command= と option= のところです。MeCab フォルダの場所は、『ひまわり』フォルダから相対的に設定しています。option の設定は、辞書の場所を指定するものです。

```
<li name="MeCab" os="Windows" annotation="morph"
    command="MeCab\bin\mecab"
    option="--rcfile=MeCab\etc\mecabrc --node-format=%m\t%f[0]\t%f[1]\t%f[2]\t%f[3]\t%f[4]\t...
```

もし、MeCab フォルダを『ひまわり』フォルダの中の resources フォルダにコピーした場合は、次のようになります。

```
<li name="MeCab" os="Windows" annotation="morph"
    command="resources\MeCab\bin\mecab"
    option="--rcfile=resources\MeCab\etc\mecabrc --node-format=%m\t%f[0]\t%f[1]\t%f[2]\t%f[3]\t%f[4]\t...
```

以上のように設定ファイルごとに MeCab の設定を行います。ただ、既存の資料をインポートする場合のように、設定ファイルが生成される場合は、生成のたびに変更する必要があります。そのため、何度も修正する必要がある場合は、生成される設定ファイルの雛形のファイル resources\template\defaultConfig.xml を上記と同様に変更して下さい。

↑

2.4 形態素解析の実行 [↑]

修正した設定ファイルを[ファイル]⇒[新規]で読み込み、[ツール]⇒[アノテーション]⇒[外部プログラム]⇒[MeCab]を実行すると、設定対象の言語資料に対して、形態素解析が実行されます。正常に終了すれば、(青空文庫サンプルのように)形態素解析結果を検索に利用できるようになります。詳しくは、次のページを参照して下さい。

- [簡単な検索用データの作成方法2](#)
- 『ひまわり』のマニュアルの「[6.3 自動アノテーション](#)」

↑

3. MeCab インストール用パッケージ [↑]

上記で紹介した内容を簡単に実行するためのパッケージを用意しました。

- [MeCab インストール用パッケージ](#) (約25MB, 2016-03-15)

利用方法は、次のとおりです。

1. USB メモリ上にインストールした『ひまわり』(ver.1.5.4以降)を起動し、ダウンロードしたパッケージを『ひまわり』にドラッグ&ドロップして下さい。
2. 以上で、パッケージのインストールは終了です。インストールでは、次のことが行われます。
 - MeCab(ver.0.996) が『ひまわり』の resources フォルダにコピーされます。MeCab の著作権表示は次のとおりです。本パッケージ自体は、BSDライセンスに基づいて配布します。なお、MeCab は、USB メモリにコピーされるだけなので、オリジナルの MeCab に含まれるアンインストールは削除してあります。

```
Copyright (c) 2001-2008, Taku Kudo
Copyright (c) 2004-2008, Nippon Telegraph and Telephone Corporation
All rights reserved.
```

- 2.3 の修正を行った defaultConfig.xml が『ひまわり』フォルダ中の resources\template フォルダにコピーされます。
 - これにより、インポート時に生成される設定ファイルは、『ひまわり』フォルダ中の MeCab を利用します。
 - ただし、既存の設定ファイル（例えば、青空文庫サンプル）に変更はありません。

Last-modified: 2017-10-15 (日) 22:21:23 (319d)

Site admin: [anonymous](#)

PukiWiki 1.4.7 Copyright © 2001-2006 [PukiWiki Developers Team](#). License is [GPL](#).
Based on "PukiWiki" 1.3 by [yu-ji](#). Powered by PHP 5.1.6. HTML convert time: 0.119 sec.